

中学校3年・外国語科 Write an order to robot scientists

「ロボットを必要とする人たちのために、ロボット科学者に提案文章を書こう」

使用機器・使用アプリ：ホワイトボードソフト・文書作成ソフト

〈ICT活用のポイント〉

- ① ホワイトボードソフトでアイデアを共有することで、相手意識を明確にすることができる。
- ② 文書作成ソフトの共同編集で、英文の質を高めることができる。

1 単元名

Let's Read② Robots Make Dreams Come True

2 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第3学年）

読むこと	書くこと
社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた500語程度の文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて5文程度で書くことができる。

3 単元の目標

ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、私たちの生活を支えているロボットに関する文章の要点を捉え、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えを書くことができる。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと		ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、私たちの生活を支えているロボットに関する文章の要点を捉えている。	ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、私たちの生活を支えているロボットに関する文章の要点を捉えようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係代名詞の特徴やきまりについて理解している。</li> <li>・ 自分が提案したいロボットについて、関係代名詞などを用いて、書く技能を身に付けている。</li> </ul>	ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えを書いている。	ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えを書こうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（全5時間）

時間	目標（◆） 主な言語活動（○）	評価			
		知	思	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	<p>◆ロボットについて興味をもち、現代社会の様々な場面でロボットが役割を担っていることを理解することができる。</p> <p>○写真を見て、キーワードをもとに英語で説明する。 ※ <u>ホワイトボードソフト使用</u></p> <p>○教科書本文に関する問題に答えながら、概要を理解する。 ※ <u>アンケート機能使用</u></p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
2	<p>◆どんなところでどんなロボットが活躍しているかを理解することができる。</p> <p>○関係代名詞の用法を復習する。 ※ <u>アンケート機能使用</u></p> <p>○本文に登場するロボットを一つ選び、説明を書く。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
3	<p>◆OriHime の説明文を読んで、おおよその内容を捉え、OriHime の説明の要約文を完成させることができる。</p> <p>○教科書本文の要約を完成させる。 ※ <u>アンケート機能使用</u></p> <p>○ロボットを必要としていそうな人を挙げる。 ※ <u>学習支援ソフト（ストリーム）使用</u></p> <p>○OriHime について、簡単な説明を書く。</p>			読 読	◎ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、私たちの生活を支えているロボットに関する文章の要点を捉えている。〈 <u>アンケート機能</u> 〉
4 本時	<p>◆ロボットを必要とする人たちのために、ロボット科学者に自分のアイデアが伝わる提案文書を書くことができる。</p> <p>○困っている人たちに役立つロボットについてグループで想起する。 ※ <u>ホワイトボードソフト使用</u></p> <p>○科学者に依頼したいロボットの提案文書をグループで作成する。 ※ <u>文書作成ソフト使用</u></p>			書 書	◎ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えを書いている。〈 <u>文書作成ソフト</u> 〉
5	<p>◆他のグループの提案文書を読み、修正したり、自分のグループの提案文書を改善したりすることができる。</p> <p>○他のグループの提案文書を読んで、修正案を書き込む。 ※ <u>文書作成ソフト使用</u></p> <p>○自分のグループの提案文書を修正しながら書く。</p>			書	◎関係代名詞の特徴やきまりについて理解している。  自分が提案したいロボットについて、関係代名詞などを用いて、書く技能を身に付けている。〈 <u>文書作成ソフト</u> 〉
後日	パフォーマンステスト			書 書 書	

## 6 本時の学習

### (1) 目標

ロボットを必要とする人たちのために、ロボット科学者に自分のアイデアが伝わる提案文書を書くことができる。

### (2) 展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉
1分	【Greeting】		
9分	<b>【Warm-up】 ※帯活動</b> ・ <u>ホワイトボードソフト</u> 上の写真を見ながら、ロボットについてパートナーに説明する。	・ 机間指導により、説明できていない生徒へ支援を行う。	
15分	<b>【Activity 1: Sharing ideas】</b> ・ 本時の目標を確認する。		
<b>Today's Goal: ロボットを必要とする人たちのために、ロボット科学者に自分のアイデアが伝わる提案文書を書こう!</b>			
	・ OriHimeのことを思い出し、これから出すべきアイデアの方向性を確認する。 ・ <u>学習支援ソフト</u> 上で、前回のアンケートの集計結果を見る。 ・ <u>ホワイトボードソフト</u> を使用して、グループ内の他の生徒と話し合いながら、ターゲットとなる人を決める。また、どのようなロボットが必要か、アイデアを出し合う。	・ OriHime 開発の経緯や成果を押さえる。 ・ 新しいロボットが必要な具体的な人々やどのようなロボット機能でそれらの人々を助けられるかを、明確にするよう助言する。	
20分	<b>【Activity 2: Writing】</b> ※ICT 端末使用 ・ 評価基準を確認する。 ・ <u>文書作成ソフト</u> を使用し、グループで、自分たちがロボット科学者に提案したい、必要だと思うロボットについて、英語で提案文書を書く。	・ <u>ホワイトボードソフト</u> で出たアイデアを参考にしながら、提案文書を文書作成ソフトで共同編集させる。	◎ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えなどを書いている。 〈 <u>文書作成ソフト</u> 〉
4分	<b>【Reflection】</b> ・ 振り返りシートを記入する。	・ 書きたかったが書けなかった表現を記入させ、次回の導入の材料とする。	
1分	【Greeting】		

(3) 評価

「書くこと」の「思考・判断・表現」

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)と指導の手立て
ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴、自分の考えや理由など様々な説明を書いている。	ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えを書いている。	ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えを書いていない。 →振り返りシートでつまずいている部分を把握・フォローしたり、個別支援を行ったりする。

「書くこと」の「主体的に学習に取り組む態度」

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)と指導の手立て
ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴、自分の考えや理由など様々な説明を書こうとしている。	ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えを書こうとしている。	ロボット科学者に自分のアイデアを明確に伝えるために、ロボットを必要とする人々を想起し、役立つロボットの特徴や自分の考えを書こうとしていない。 →振り返りシートでつまずいている部分を把握・フォローしたり、個別支援を行ったりする。

7 ICTの効果的な活用について

今回の実践において、ホワイトボードソフトを思考ツールとして使用することで、グループ内で論点を絞ることが素早くでき、生徒のアイデアをふくらませることができた。

また、文書作成ソフトの共同編集においては、グループ全員が英作文に関わることで、様々な表現や語彙の使用が検討された。英作文の内容面と言語面における質の向上につながった。



Order to robot scientist  
Class 3-1 Group No.5

○members  
○order of a new robot

To robot scientists,

We want a robot that can help busy people.  
For example, some people have hard work and they are a single parent family.  
There are some robots we want .  
For example, I want a robot that can cook food automatically.  
If we can use this robot,we do not have to cook food every day.